

ダイジェストニュース

～ 動きのあるプロジェクトをピックアップしてご紹介！ ～

● **生きがいごとサポートセンター神戸 (ワラビー) 『次世代の NPO 元年』**
2022 年は NPO 元年とも呼べるほど、20 件以上の NPO 法人及び一般社団法人の立ち上げと相談がありました。神戸市でもそれに対応した NPO 等の課題解決のための資金援助や非資金援助の事業が多く実施され、ワラビーもその事業に参画しました。(山崎)



NPO 運営セミナー



新しい神戸市デザインの看板

● **JR 住吉駅前駐輪場 『“まちなか”駅前駐輪ステーションを人にやさしく魅力的な空間に』**
神戸市デザイン統一の駐輪場看板で、駐輪場を明るく魅力的な空間にリニューアル！さらに駅前店舗と開催した“認知症を優しく包むいきづくり”で地域連携も進めました。(柳井)

● **生きがい活動ステーション 『仲間とつながる・地域とつながる』**

「心でつながる☆お手紙クラブ」と、耳が聞こえる人も聞こえない人も一緒に楽しむ「みみサロン」が自立し、独自で活動をするようになりました。2 団体の共通点は「楽しい」！これからも、仲間と一緒に楽しみながら、地域で喜ばれる活動につなげていきます。(伊藤)



心でつながる☆お手紙クラブ

● **まちづくりスポット神戸 『多様な人が集まる場をつくる』**

こどもが主役になれる 1 日をコンセプトに、子どもの育ちをサポートしている 9 団体と「こどもフェスティバル」を企画しました。その中で障がいがある子もいない子も一緒にモデルになれるプリンセスファッションショーを開催するなかで、幼児から中学生までの子どもたちがそれぞれに役割をもって子どもの力で作り上げる姿を見ることができました。(新庄)



こどもフェスティバル
みんなでユニバーサルヨガダンス！

● **神戸市コミュニティ相談センター 『アウトリーチに挑戦！』**

今年はセンターから外へ出かけることにチャレンジしました。初任者研修を東灘区と西区で開催したところ、両会場とも定員を超える参加があり、コミセンとして顔が見える関係づくりができました。(長井)



あすパーク・こどもボランティア

● **地域共生拠点・あすパーク 『さらなる活動づくり』**

2022 年は新たに「一般社団法人食べる健康プラットフォーム」など 4 団体が立ち上がり、自立した団体として活動を始められました。つながりづくりのための「あすパーク・こどもボランティア」は、毎日公園のごみ集めや家のお手伝いなどで 10 名ほどが活動し、今では登録数 180 名にもなり盛況です。(山村)

会費継続をお願いします 市民活動を共に支えてくださる賛助会員 (個人・団体) の方々を募集しております。

【会費】
個人会費：3,000 円/年
団体会費：10,000 円/年
【振込先】※現金での振込みの場合、手数料 110 円をご負担頂きます。ご了承ください。
名義：特定非営利活動法人コミュニティ・サポートセンター神戸
郵便振替 00950-2-144205

認定 NPO 法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 (CS 神戸)

〒658-0052 神戸市東灘区住吉東町 5-2-2 ビュータワー住吉館 104

TEL：078-841-0310/FAX：078-841-0312/E-MAIL：office@cskobe.com

発行人：中村順子 編集人：長井明子

2023 年 2 月 25 日発行 通巻 94 号

編集後記 少しずつ地域に賑やかさが戻ってきました。人が集い、楽しむ。当たり前のことがとても大事なことだったと再認識しています。(N)



— 認定 NPO 法人 コミュニティ・サポートセンター神戸 —

市民フロンティア

「自立と共生」を理念とした地域社会をめざし、自ら活動する人々を応援します

2023 年 2 月 25 日発行 通巻 94 号

知って！ 出会って！ 体験する！
NPO 地域貢献活動 フェア

HELLO

地域活動の仲間が増えました！

CS 神戸は地域の架け橋

CS 神戸理事 尾花 弘教
(株式会社ウエルアップ 代表取締役)

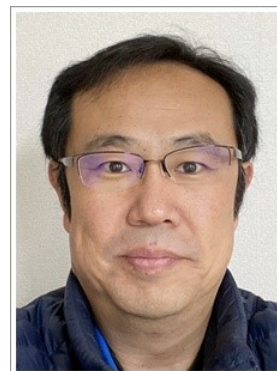
令和に入り VUCA (変動・不確実・複雑・曖昧) の時代といわれて 4 年。さらに 3 年余り続いた新型コロナによる急激な生活環境の変化にもやっと出口が見えてきました。しかし、新しい価値観を取り込むのは企業も地域もそう簡単ではありません。中小企業も経営・存続の真価を問われるのは 2023 年度からと言われています。

3 年以上生存している中小企業は 52.8%。10 年存続は 10% をきり、さらに 20 年存続は 0.39% といわれ、どの時代でも 10 年ごとの社会の変化に対応する事は大変難しいことが数字からもわかります。

そんな中、四半世紀以上存続している CS 神戸は強いだけの組織ではなく、韌やかさを持ち合わせる強靱な組織であることは間違いありません。数多の困難を乗り越え、さらに変化し続けることで地域になくはならない組織へと進化してきた 1 つの結果です。それを成し得られたのは、ぶれない理念『自立と共生』の旗印のもと、人と人・人と地域を結び、社会のお役に立つために挑戦し続けたからです。CS 神戸に関わるなかで、経営者として学びと勇気をいただいています。

正解がわからない激動の時代。常識が非常識になりえ得る時代だからこそ、すべては人です。何をするかよりも『誰とするか！』。

ひとりひとりの弱みでは無く“強み”を掛け合わせていき、「正しい」より「楽しい」を届け、地域の架け橋として、これからも CS 神戸はまちづくりのパイオニアとなります！ご期待ください！！



NPO・地域貢献活動フェアを市内 5 カ所で開催

～ 地域活動の場に新たな人材をつなぐことができました ～

335 名
との出会い

知って! 出会う! 体験する!
NPO
地域貢献活動
フェア

268 件の
体験



1/30 北区会場

1月18日から30日まで、神戸市内5カ所で初めての「NPO・地域貢献活動フェア」が開催されました。神戸市が主催し、CS 神戸が企画運営、五つのエリアごとにコーディネーター団体の協力を得て実施された本事業では、こども食堂・地域の居場所・多文化共生・スポーツ文化振興・環境保全など、地域の課題解決に取り組む NPO 等が、延べ 80 団体出展し、それぞれのブースを訪れた一般市民に活動の紹介をしました。

この事業の特徴は、**地域活動に関心のある人がただ知るだけでなく、2月中に実際にトライアル（現場体験）に行ってみる**、という点にあります。出展した団体は、どこも新たな人材を必要としており、体験した人が継続して活動することで、団体の活動のさらなる充実を目指しています。

神戸市内の各地区で開催し、新聞・SNS などを通じて大きく宣伝したことで、合計 335 人もの人々が来場し、トライアルの申し込みは 268 人に上りました。

来場者からは「地域にこんなにたくさんの団体があるとは知らなかった」「一歩を踏み出してボランティアをやってみます」などの声があり、この事業を通じて地域貢献に関心を持つ新たな市民にアクセスし、活動の場とつなぐことができたといえます。（守永）



	エリア	エリアコーディネーター	参加団体	来場者	トライアル申込 (フェア時点暫定値)
1/18	中央・長田・兵庫	NPO法人Oneself	16団体	53名	49件
1/21	東灘・灘	一般社団法人 SAZARE	19団体	93名	91件
1/26	須磨・垂水	NPO法人福祉ネットワーク西須磨だんらん	15団体	53名	42件
1/29	西	智雲ボランティア活動研究所	16団体	102名	54件
1/30	北	社会福祉法人弘陵福祉会	14団体	34名	32件
		合計	80団体	335名	268件

助け合いプラットフォーム構築事業

～ 地域のニーズから生まれるグループづくり ～

地域に一人暮らしの高齢者が増えている中、ニッセイ財団より助成を受け、何歳になっても地域で安心して暮らし続ける仕組み「助け合いプラットフォーム」づくり事業を進めてきました。地域包括支援センターへのヒアリングから明らかになった高齢者のニーズに対応するボランティアグループが東灘区・灘区で立ち上がり、活動を始めました！（山村）

東灘 自立した団体として活動しています！



そろそろ動こう会 ほのぼの・ニコニコ

毎週水曜日の9時から、福井池地域福祉センターでラジオ体操をしています。ラジオ体操は誰もが気軽にできますが、継続することで650の筋肉を鍛えることができます。健康寿命も獲得です！地域福祉センターとの連携も楽しみです。

ウォーキンググループ

毎月第3土曜日の午前中（9:30～）に東灘区周辺のウォーキングを楽しんでいます。白鶴酒造資料館前が集合場所です。楽しく歩き、健康増進とコミュニケーションの活性化を図りましょう♪



灘 トライアルを終え、地域に求められる活動の一步を踏み出しました！

わくわくラジオ体操

地域共生拠点・あすパーク前でラジオ体操をしています。終わった後のおしゃべりも楽しみ！フレイル予防はここからです。青空の下で一緒に体を動かしませんか？



おれんじ茶房 六甲の会

月1回、地域共生拠点・あすパークで開催しています。認知症の家族や当事者が気軽に来ておしゃべりできるカフェです。ひとときのリフレッシュ時間を気兼ねなく一緒に過ごしましょう。



あすバ・ユース震災語り部隊

～ CS 神戸の正会員 池田拓也さんの活動をピックアップ！ ～

神戸市灘区の大和公園内にある「あすパーク」を拠点に、公園周囲の震災経験を若者の力で語り継いでいく活動を2022年度より始めました。高校生、大学生のメンバー約20名で活動しています。月1回程度のペースで活動していますが、いわゆる「語り部」として活動されている方だけでなく、震災から28年「これまで語れなかった方々」にアプローチしたり、周囲の方々との多世代交流の場になることも念頭にしています。

地域住民の方々への聞き取り活動はもちろん、カフェ企画で交流の時間を持ちたり、ぼうさい国体で神戸を訪れた学生さん相手に町歩き企画をしたり、1/17に行われた「安全の日のつどい」に出展したりと活発に活動しています。神戸からだけでなく、大阪からも関心ある学生が集まっています。震災30年を目前に、継続した活動を行っていく予定です。（池田）

